

中尾中における環境活動 ～リサイクルと美化～

1 概要

地球規模の環境問題への対応と環境に優しい生活スタイルへの転換が求められる現代社会において、そのことに気づき、関心を持ち、考え行動していくことは、個人としても集団としても大切なことである。コロナ禍により依然として制限がかかる中、生徒は環境問題について学び、日常生活の中で無理なく実践できる環境活動に取り組んでいる。



職員室でのゴミの分別

2 内容

○学校全体の活動

- ・不要になったプリント類や雑誌、その他の紙製品を、各教室や職員室などでカゴに回収して、再生紙としてリサイクルしている。

○職員の活動

- ・ミスプリント用紙の裏面に、印刷をして再利用したり、電話のメモ用紙に使用したりしている。

○JRC 委員会の活動

- ・不要になったプリント類や雑誌、その他の紙製品を各教室や職員室などから回収している。
- ・校舎内で使用済みとなった掲示物を回収している。

○給食委員会の活動

- ・各クラスで乾燥させた牛乳パックを回収している。
(現在は牛乳パックを潰したものを回収している。)



給食委員が牛乳パックを回収

○PTA の活動

- ・不要になった制服を回収して、必要な生徒に配りリサイクルしている。

○地域での取り組み（地域ボランティア活動）

- ・区長会と連携して、10月には生徒が地区別に分かれて清掃美化活動をしている。しかし、コロナ禍の影響で3年連続中止されている。



清掃当番がゴミ出しで分別

3 取り組みの見直し及び今後の活動について

未だ環境美化活動にも制限がかかる中、可能な範囲内で以前からの活動を尊重し、改善を加えながら継続して取り組んでいく予定である。